2023 年 10 月入学・
2024 年 4 月入学

広島市立大学大学院
情報科学研究科博士前期課程
学生募集要項

推薦入試

【本学所定様式】

（以下の出願書類は，別途ダウンロードしてください。）

［Ａ票］入学志願票
［Ｂ票］履歴票
［Ｃ票］受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
［Ｄ票］推薦書
［Ｅ票］志望理由書
入学検定料振込依頼書

Hiroshima City University

発行：2023 年 4 月

情報科学研究科（博士前期課程）の概要

1　アドミッション・ポリシー

広島市立大学は，豊かな感性と真理探究への情熱を持ち，多様な文化と価値観を尊び，平和を希求する人材を育成します。さらに，幅広い知識と確かな専門性を有し，高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため，次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで，向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち，知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- 情報科学に関する学理の探究と，科学技術の発展に関心がある人
- 自ら進んで問題に取り組み，その成果を社会に還元する意欲がある人
- 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

2　専攻の概要

本研究科は情報工学専攻，知能工学専攻，システム工学専攻，医用情報科学専攻の 4 専攻からなり，次のような能力を養うとともに，独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力，企画力，判断力さらに国際的視野を身につけた人材を養成します。

- コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用，そして次世代のコンピュータとネットワークを創成する能力
- 知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し，それをシステム化する能力
- 人間，コンピュータ，機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力
- 様々な分野間の研究に横断的に取り組み，柔軟に境界領域，応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力
- 自主プロジェクト演習を通し，自ら独創的研究を計画推進できる実践能力

授業科目は，「情報工学専攻」ではコンピュータハードウェア分野，コンピュータシステム分野，コンピュータネットワーク分野，コミュニケーション基盤分野，「知能工学専攻」では知能ソフトウェア分野，知能メディア分野，知能サイエンス分野，「システム工学専攻」では人間・ロボット共生分野，インターフェースデザイン分野，「医用情報科学専攻」では，情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野において，科学技術の高度化と多様化に対応できるよう基礎から応用までの学識，技術の体系を修得できるように開設しています。

3　授与する学位の種類

博士前期課程では，修士論文の内容により，「修士（情報科学）」又は「修士（情報工学）」のいずれかになります。

4　修業年限

博士前期課程の修業年限は 2 年間とします。ただし，優れた研究業績をあげた者については，1 年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

Ⅰ　入学者選抜要項

1　募集人員

研究科	専　　攻	入学定員	募集人員	
			10月推薦入試	4月推薦入試
情報科学研究科	情 報 工 学 専 攻	23名	若干名	10名
	知 能 工 学 専 攻	23名	若干名	10名
	システム工学専攻	23名	若干名	10名
	医用情報科学専攻	15名	若干名	7名

2　出願資格

⑴　出願資格

次の①～⑪のいずれかに該当する者（①～⑧，⑪については，「2023 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2023 年 9 月 30 日までに，「2024 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2024 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者を含む），なおかつ⑫に該当する者

① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条の大学を卒業した者
② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者〔※〕
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けた者において課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号による。）
⑨ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって，本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
⑩ 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，「2023 年 10 月入学」入学試験に出願する者は 2023 年 9 月 30 日までに，「2024 年 4 月入学」入学試験に出願する者は 2024 年 3 月 31 日までに 22 歳に達しているもの
⑪ 学校教育法第 83 条の大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で，本学大学院が定める単位を優れた成績をもって修得したものと認める者〔※※〕
⑫ 2021 年 7 月 1 日以降に実施された本学の指定する英語外部検定試験のスコアを証明する書類を出願時に提出でき，かつ，そのスコアが本学の指定する基準値以上である者（詳細については，6 ページ「⑷出願書類等　⑪英語外部検定試験のスコア証明書」で確認してください。）

〔※〕本学では，中華人民共和国の「高等教育自学考試」は学校教育における 16 年の課程に含めません。出願資格⑩により，必ず「⑵事前審査」で認定を受けてください。

〔※※〕出願資格⑪により入学試験に合格した場合は，所属大学を大学 3 年次修了時点で退学し，大学院へ進学することになり，所属大学から学士の学位は与えられません。そのため，各種国家試験等の受

験資格が得られないことがあります。
ただし，一定の要件を満たした場合，独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請し，審査を受け合格することにより，「学士」の学位を取得することが可能です。詳細は，同機構のウェブサイト（https://www.niad.ac.jp/）をご確認ください。

⑵ 事前審査

3ページ⑨～⑪の資格により出願しようとする者は，出願資格認定のため事前審査を行います。
必ず本学アドミッションセンターへ申し出たうえで，下記の必要書類を期限までに提出してください。
なお，郵送の場合は，郵送期間を十分考慮のうえ，**書留速達郵便**とし，封筒表面に**「情報科学研究科事前審査申請書類在中」**と赤字で記載してください。

〔必要書類〕事前審査申請書（本学所定の様式），指導教員又はこれに準ずる者の推薦書（本学所定の様式），成績証明書，在学する大学の履修基準授業・科目表等
※出願資格により提出する書類が異なりますので，事前に本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。また所定の様式は申し出により交付します。

〔提出期限〕2023年5月5日（金）午後5時必着（2023年10月入学，2024年4月入学共通）

ア　事前審査の結果は，5月24日（水）までに本人宛に郵送により通知します。
イ　事前審査の結果，出願資格の認定を受けた者は，本募集要項により出願手続を行ってください。
ウ　出願資格⑪により出願を希望する者は，次の要件を満たす必要があります。

① 2年次までに，共通教育科目（教養科目）の卒業要件単位を修得していること。
② 2年次までに開講された学部教育科目（専門科目）の必修科目の単位を修得していること。
③ 3年次までに修得見込みの単位数が，卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。
④ 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムに参加し，プログラム指定科目について優秀な成績を収めていること。または，2年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が，100点満点評価における80点以上に相当する評価であること。

（注）1　入学試験に合格しても入学の許可を受けるためには，「2023年10月入学」入学試験に出願する者は2023年9月30日までに，「2024年4月入学」入学試験に出願する者は2024年3月31日までに次の要件を満たしている必要があります。ただし，大学の卒業証明書を提出できる場合はこの限りではありません。
① 3年次までに修得した単位数が，卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。
② 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムを大学入学後（休学期間を除く）3年間で修了していること。または，3年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が，100点満点評価における80点以上に相当する評価であること。
2　入学試験に合格となった者は前項1に示した要件①，②を証明するための成績証明書（出身大学（学部）長等が作成したもの）等を，「2023年10月入学」入学試験に出願する者は2023年9月14日までに，「2024年4月入学」入学試験に出願する者は2024年3月15日までに提出してください。

3　推薦要件

次の各号を満たす者
⑴ 学業成績，人物共に優れ，志望する研究科，専攻に対して熱意と適性を有する者
⑵ 所属大学もしくは出身大学または高等専門学校専攻科の教員が責任をもって推薦できる者
ただし，推薦書を得がたい場合は，自己推薦も認める。
⑶ 合格した場合には入学することを確約できる者

4　出願手続

出願する前に，本募集要項等を参照のうえ，⑶の出願先を通じて，あるいは直接，**指導を希望する教員に研究内容等について問い合わせを含む事前相談を必ず行ってください。第 2 志望についても同様です。**

⑴　出願期間

2023 年 5 月 24 日（水）から 2023 年 5 月 30 日（火）午後 5 時まで

郵送による出願書類の提出については，**出願期限前日の 5 月 29 日（月）までの消印がある書留速達**に限り，期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

⑵　出願方法

出願書類等を一括して角形 2 号の封筒に入れ，郵送又は持参の方法により，出願期間内に本学アドミッションセンターに提出してください。郵送の場合は**書留速達郵便**とし，封筒表面には**「大学院入学試験出願書類在中」**と赤字で記載してください。

なお，持参の場合の受付時間は，午前 9 時から午後 5 時までです。土曜日，日曜日，大学休業日は受付を行いません。

⑶　出願先

〒731-3194　広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
広島市立大学アドミッションセンター
電話　082-830-1503
E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

⑷　出願書類等

出願に必要な書類等			作　成　方　法　等
①	入学志願票	［A票］	本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては，欄外に記載した「**記入上の注意**」をよく読んでください。
②	履　歴　票	［B票］	
③	受　験　票	［C票］	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
④	写　真　票		本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身，無帽，正面向き，背景なしの出願前 3 か月以内に撮影した縦 4 ㎝×横 3 ㎝の写真の裏面に氏名を記入し，のり付けしてください。
⑤	入学検定料振込証明書貼付票		入学検定料 **30,000 円**を，本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ＡＴＭ(現金自動預払機)は使用できません。振込後，「入学検定料振込証明書」（金融機関の出納印のあるもの）を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお，ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は，通帳及び印鑑（届印）が必要です。現金による振込はできません。また，本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。 ※　海外に居住する志願者は，入金方法が異なります。詳しくは出願前に「⑶ 出願先」に E-mail で問い合わせてください。
⑥	推　薦　書	［D票］	本学所定の様式により，所属大学もしくは出身大学または高等専門学校専攻科等の教員が作成し，**厳封**されたものを提出してください。 推薦書を得がたい場合は，自己推薦とし，この様式に自己をアピールする文章を記入してください。（推薦者欄及び成績順位欄は記入不要）
⑦	志望理由書	［E票］	本学所定の様式により，志望の理由及び希望する研究について 800 字程度で記入してください。
⑧	成　績　証　明　書		出身大学（学部）長等が作成したものを提出してください。
⑨	卒　業　証　明　書		出身大学（学部）長等が作成したものを提出してください。 なお，大学，高等専門学校等を卒業見込みの場合は，卒業見込証明書等は提出不要です。ただし，合格した場合，入学日前日までに卒業証明書を提出してください。（本学情報科学部在籍者は不要。）

出願に必要な書類等		作　成　方　法　等
⑩	学位授与申請見込証明書又は学位授与証明書【出願資格⑴②により出願する者のみ】	・学位取得見込者：学士の学位授与申請見込証明書（出身高等専門学校長が発行したもの） ・学位取得者：学士の学位授与証明書（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの）
⑪	英語外部検定試験のスコア証明書	2021年7月1日以降に実施された以下の①～④のうちいずれかの英語外部検定試験で，そのスコアが以下の【】内に示す基準値以上のスコアを証明する書類（点数及び受験者氏名が記載されたもの）。マーク方式の場合は**原本とそのコピー**（オンライン方式はスコア表示画面を印刷したものを１枚）を提出してください。（複数提出可。） 原本は，受験票に同封して返却します。 ① TOEIC®L&Rテスト【400点以上】 ② TOEIC®L&R IPテスト【400点以上】 ③ TOEFL®iBT【40点以上】 ④ IELTS【3.5以上】 **※ オンライン方式を受験しスコアを提出する場合，監督者付きのスコアのみ認めます。監督者付きのスコアとは，オンライン試験中に試験監督者によるカメラ映像に基づく本人確認かつ監視を受けた試験によるスコアを意味します。**
⑫	返　信　用　封　筒	受験票送付用の定形封筒（長形3号，23.5㎝×12㎝）に郵便番号，住所，氏名を明記し，**84円分の切手を貼付**してください。

（注）１　①～⑦（［Ａ票］～［Ｅ票］）の様式及び入学検定料振込依頼書は，本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし，印刷して使用してください。
　様式及び入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は，本学アドミッションセンターに請求してください。
２　**出願書類のうち，日本語または英語以外の外国語で書かれた証明書等には，日本語訳または英語訳を添付してください。**

⑸　入学検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの入学検定料を返還します。ただし，返還する際に発生した各種手数料は，送金人（志願者）負担となる場合があります。

①　入学検定料を納入したが，出願しなかった場合
②　入学検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
③　出願書類等を提出したが，出願が受理されなかった場合

〔返還請求の方法〕

上記①又は②に該当した場合は，2023年8月31日（木）までに本学アドミッションセンターに連絡してください。「検定料返還申請書」をE-mailで送付しますので，必要事項を記入の上，出願先の住所あてに郵送してください。

上記③の場合は，出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので，必要事項を記入の上，出願先の住所あてに郵送してください。

⑹　入学検定料の免除

「広島市内の者」で，入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は，これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し，期限までに申請してください。

(注)　「広島市内の者」とは，次のいずれかに該当する者のことをいいます。
１　入学の日の属する月の初日において継続して１年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
２　入学の日の属する月の初日において配偶者又は１親等の親族が継続して１年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
３　その他これらに準ずると本学が認める者

〔申請期限〕 2023年5月10日（水） 午後5時必着（2023年10月入学，2024年4月入学共通）

⑺　出願上の注意

①　必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので，出願の際には十分確認してください。

②　出願書類受理後は，出願事項の変更は認めません。ただし，氏名，住所，電話番号に変更があった場合には，本学アドミッションセンターまで連絡してください。

③　**一度受理した出願書類及び入学検定料は，返還しません。**

④　入学を許可した後であっても，出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には，入学を取り消すことがあります。

5　2021 年 4 月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については，出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です。）。また，合格者については，申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については，本学ウェブサイトをご覧ください。（トップページ ＞ 入学案内 ＞ 大学院入試情報 ＞ 全研究科共通　＞ 入試情報）

6　受験上及び修学上の配慮を希望する者との事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，下記の事項を記載した申請書を作成し，本学アドミッションセンターに相談してください。申請書の様式は申出によりお渡しします。

〔申請書の記載内容〕

①　志願者の氏名，住所，連絡先電話番号

②　志望専攻等

③　障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付）

④　受験上の配慮を希望する事項

⑤　修学上の配慮を希望する事項

⑥　日常生活の状況

〔申請期限〕2023 年 5 月 10 日（水）　午後 5 時必着（2023 年 10 月入学，2024 年 4 月入学共通）

7　個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知，入学手続及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行うために利用します。

また，同情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請，授業料免除申請等）業務の目的をもって本学が管理します。

上記業務の一部は，個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で，外部の業者に委託する場合があります。

8　入学者選抜方法

入学者の選抜は，Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。

当日の詳細については受験票送付時にお知らせします。

⑴　実施日時

月　日　（曜）	専攻	試験科目	時　間
7月1日（土）	全専攻	面　接	12:00 ～

⑵　内容及び評価基準

試験科目	内　容　等		評　価　基　準
面　接	全　専　攻	志望する専攻に関連する口述試験を含みます。	大学院における研究･学修意欲及び適性等を評価します。出願した専攻に関連する学部レベルの専門知識を問う内容を含みます。 1人あたり15分程度で実施します。出願書類は，面接の参考とします。

⑶　受験上の注意

①　Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。受験者側で Web 会議システム「Zoom」を利用できる機器（パソコン等）やネットワーク環境等の準備が必要になります。なお，オンライン面接の受験に係る費用（通信料等）は受験者ご自身の負担となります。

②　受験者は，試験開始 30 分前までに受験票送付の際にお知らせした受験者控室（Zoom ミーティング）に入室してください。

③　面接開始時刻に受験者控室（Zoom ミーティング）に不在であった場合は，欠席したものとして取り扱います。

④　当日は，本学の受験票を必ず携帯してください。

⑤　面接の途中で退席することはできません。失格となります。

⑥　試験当日にインターネットに接続ができない等のトラブルによって，Zoom ミーティングに参加できない場合は受験できない場合があります。

⑦　その他受験者への連絡等が必要になった場合は，受験票送付の際に通知します。また，緊急で受験者に連絡する事項がある場合は，本学のウェブサイトに掲載します。

9　注意事項

①　なりすまし受験やカンニング行為（出題範囲に関する参考書やメモ等を持ち込むこと，Web ブラウザ（Google Chrome，Firefox 等）や SNS（Twitter，LINE 等）で出題範囲や試験に関する内容を閲覧することを含む）及び他の受験者への協力行為等，他の受験者との公平性を欠く行為や，Web 会議システム使用中の録音・録画等，試験内容を記録に残す行為等があった場合は，不正行為とみなし，入学試験の結果を無効にすることがあります。また，入学後であっても，入学の許可を取り消すことがあります。なお，その場合出願書類及び入学検定料は返還しません。

②　視線が頻繁に動く場合は，カンニング行為等の不正行為をしていないか確認することがあります。

③　事前に接続テスト（「10　受験環境の準備」⑶参照）を必ず行ってください。

10　受験環境の準備

⑴　第三者が入室しない明るく静かな個室（ゼミ室，自宅やレンタルスペース等）を用意してください。

また，不正防止の観点から，面接開始前に使用場所全体をカメラに映していただきます。プライバシーに関わるものが映らないようにご注意ください。

動画を送受信できる安定したネット環境が整わない等で広島市立大学に来学して特別受験室で受験を希望する受験者は 2023 年 5 月 30 日（火）までに本学アドミッションセンターに以下の申請事項を明記のうえ E-mail にて申請してください。自室等でオンライン方式で受験を希望する受験者は事前の申請は必要ありません。

【申請事項】広島市立大学に来学して特別受験室で受験を希望する受験者
E-mail タイトル：情報科学研究科推薦入試（広島市立大学での受験を希望）
内　　容：①氏名
②志望専攻
③当日の機器の持ち込みについて
（例：パソコン，スマートフォン，タブレットなど）
④特別受験室で受験を希望する理由
（例：ネット環境が安定しないため。パソコンが２台用意できないため。）

※広島市立大学の特別受験室で受験の場合もオンライン方式での受験となります。
※上記申請締切後はいかなる理由があっても受付けませんので受験者自身で受験環境を整えてください。
また，申請者数によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

⑵　インターネットに接続が可能なパソコン（ウェブカメラ，マイク，スピーカー）又はスマートフォン等を計 2 台用意してください。なお，機器の組み合わせは自由です（パソコン×スマートフォン，パソコン×タブレット，タブレット×スマートフォン）。事前に，Zoom アプリを当日使用する機器にインストールしておいてください。これからインストールする場合は，下記 URL からダウンロードできます。

https://www.zoom.us/download　（※無料版で可。アカウントの作成不要。）

スマートフォンを使用する場合は，面接に関係ない電話の着信や E-mail，通知の受信等で面接が中断されることのよう設定等に十分注意してください。

⑶　事前接続テストについて
事前に接続テストを必ず行ってください。
・Zoom ミーティングのテスト(https://zoom.us/test)
・Zoom ヘルプセンター(https://support.zoom.us/hc/ja)

11　合格者発表

2023年7月11日（火）午前10時

合格者に合格通知書を送付します。

また，本学ウェブサイト(https://www.hiroshima-cu.ac.jp/)でも合格者の受験番号を掲載しますが，参考情報ですので，合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお，電話，E-mail，郵便等による問い合わせには応じません。

Ⅱ　入学手続，納付金等

1　入学手続

⑴ 入学手続期間

「2023 年 10 月入学」合格者：2023 年 9 月 6 日（水）から 2023 年 9 月 14 日（木）まで
「2024 年 4 月入学」合格者：2024 年 3 月 1 日（金）から 2024 年 3 月 15 日（金）まで
※いずれも最終日は午後 5 時必着です。

⑵ 入学手続方法

① 入学手続に必要な書類は，「2023 年 10 月入学」合格者には合格通知書発送時に，「2024 年 4 月入学」合格者には 2024 年 2 月下旬に送付します。
② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便**とし，封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ，**入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。
③ 入学手続期間最終日のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学アドミッションセンターです。受付時間は，午前 9 時から午後 5 時までです。
④ 入学手続を完了した者には，入学手続期間終了後，入学許可書を送付します。

⑶ 提出書類

① 本学の受験票
② 誓約書（本学所定の様式）
③ 保証書（本学所定の様式）
④ 写真 1 枚（上半身，無帽，正面向き，背景なしで最近 3 か月以内に撮影した「縦 4 ㎝×横 3 ㎝」のもの。裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。）
⑤ 住民票の写し（下記「2　納付金等」の入学料が「広島市内の者」に該当する方のみ，その証明として必要になります。合格者本人が「広島市内の者」である場合は，本人分のみの住民票の写しを提出してください。その他の場合については，「2023 年 10 月入学」合格者には合格通知書発送時に，「2024 年 4 月入学」合格者には 2024 年 2 月下旬に送付する，提出書類に関する通知をお読みください。）

⑷ 入学手続先

〒731-3194　広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
広島市立大学アドミッションセンター　　電話　082-830-1503

⑸ 入学手続上の注意事項

① 期間内に手続きを行わなかった者については，入学を辞退したものとして取り扱います。
② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので，書類の提出の際には，十分確認してください。
③ **一度受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。**
④ **卒業（修了）見込みで出願して合格した者は，卒業後，速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。入学日前日までに卒業（修了）できなかった場合は，入学を取り消します。**

2　納付金等

⑴ 入学手続までに納付するもの

区　　分		金　　額
入　学　料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

(注)　「広島市内の者」とは，次のいずれかに該当する者のことをいいます。
1　入学の日の属する月の初日において継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
2　入学の日の属する月の初日において配偶者又は 1 親等の親族が継続して 1 年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
3　その他これらに準ずると本学が認める者

⑵　3 月末までに納付するもの

区　　分	金　　額
後援会費(注)	20,000 円

（注）　後援会費には，学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

⑶　入学後に納付するもの

区　　分	金　　額	納付時期
授業料（年額 535,800 円）（注）	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで

（注）　授業料は，2023 年 4 月現在の金額です。改定を行った場合には，改定時から新授業料を適用します。

⑷　入学料・授業料の減免等

①　入学料の減免

次のいずれかに該当し，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には，入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア　入学前 1 年以内に，学資を主として負担している者が死亡した場合

イ　入学前 1 年以内に，入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ　入学する者が「広島市内の者」であり，生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

②　授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀であると認められる場合には，授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳しくは，本学ウェブサイト（トップページ ＞ キャンパスライフ ＞ 授業料）でご確認ください。

⑸　「ひろしま DX 人材育成奨学金」について

推薦入試合格者は，広島県の事業である「ひろしま DX 人材育成奨学金」に応募することができます。本奨学金は大学を通してのみ応募可能です。過去の募集については本学ウェブサイト（https://www.hiroshima-cu.ac.jp/campuslife/content0004/#all）に掲載していますので参考にしてください。

【ひろしま DX 人材育成奨学金の概要】

貸付金額：月額 5 万円（無利子）

貸付期間：修学生に適用される修業年限内。ただし，6 年間を上限。

返還免除の要件：修了後，9 年間のうち 8 年間以上，広島県内で DX 推進に資する業務に従事した場合は貸付金の返還を全額免除します。

奨学金の詳細につきましては，広島県のホームページご確認ください。

広島県のホームページ：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/dxchallenge-koubo.html

ご不明点等ございましたら広島県商工労働局産業人材課人材育成グループ（℡：082-513-3420 E-mail：syojinzai@pref.hiroshima.lg.jp）へお問い合わせください。

Ⅲ　講座，研究テーマ及び教員

（2023 年 4 月 1 日現在）

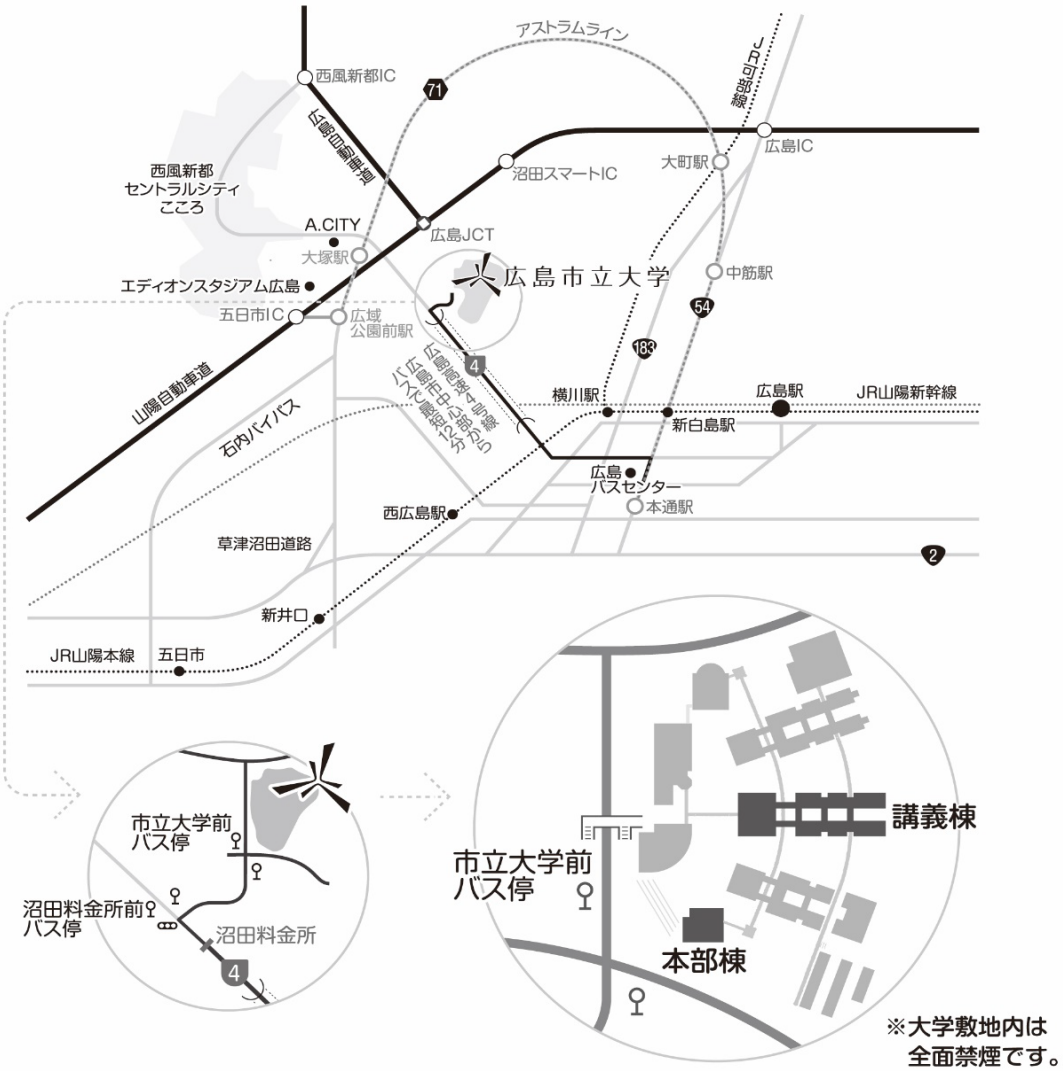
専攻	講座	研　究　テ　ー　マ	教　　員
情報工学専攻	コンピューティング	ストカスティックコンピューティング	教　授　市原　英行
		ディペンダブルコンピューティング	教　授　井上　智生
		論理設計とスイッチング回路理論	教　授　永山　　忍
		リコンフィギャラブルシステムの設計と応用	教　授　弘中　哲夫
		プログラミング言語処理系とソフトウェア開発環境	准教授　川端　英之
		レイアウト設計と回路マッピング	講　師　稲木　雅人
		リコンフィギャラブルコンピューティング	講　師　谷川　一哉
	コミュニケーション	情報ネットワークの基盤技術とそのシステムの高度化・高信頼化	教　授　石田　賢治
		大規模複雑ネットワークの分析と制御	教　授　髙野　知佐
		暗号アルゴリズム設計およびセキュリティシステム開発	准教授　稲村　勝樹
		無線ネットワーク制御の設計・高度化	准教授　小畑　博靖
		安全な分散コンピューティング	准教授　上土井陽子
		アドホックネットワークを活用した安心安全なネットワークシステムの開発とネットワークセキュリティ	准教授　河野英太郎
	センシング	ネットワークソフトウェアの設計と評価	教　授　大田　知行
		光センサ，放射線センサの基礎研究とセンサシステムの構築	教　授　田中　公一
		ワイヤレスネットワークと電波センシングシステム	教　授　西　　正博
		高信頼な無線通信方式と電波測位方式	准教授　高橋　　賢
		３Ｄ原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用	准教授　八方　直久
		効率的な情報交換のためのネットワークアプリケーション技術	准教授　舟阪　淳一
		ワイヤレス通信に関わる電波伝搬および電磁環境の評価	講　師　新　　浩一
		気体イオン検出におけるイオン光学シミュレーション	講　師　藤原　　真

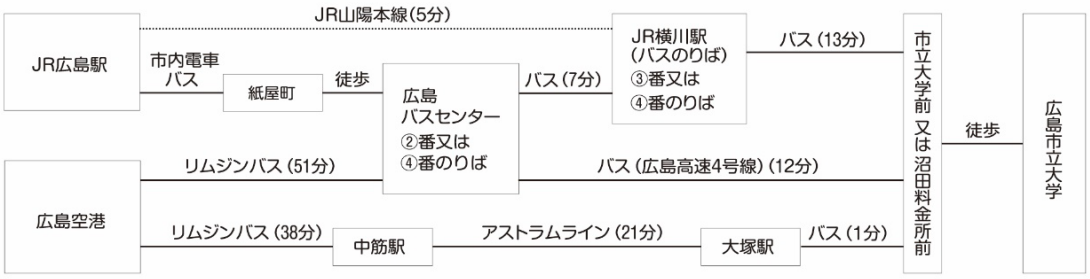
専攻	講座	研　究　テ　ー　マ	教　　員
知能工学専攻	データ科学	グラフ構造データに対する機械学習法とデータマイニングへの応用	教　授　内田　智之
		非構造化データからの知識発見とその工学的応用	教　授　田村　慶一
		多変量統計解析，統計的多重比較	教　授　百武　弘登
		多次元データベースとその応用	准教授　黒木　　進
		知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用	准教授　宮原　哲浩
		正標数の代数的閉体において定義された代数多様体	准教授　齋藤　夏雄
		数理システムと空間配置の幾何学	准教授　関根　光弘
		多変量統計解析と漸近理論	講　師　佐藤　倫治
		機械学習を用いたグラフ構造化データからの知識発見とその応用	講　師　鈴木　祐介
	人間情報学	進化的計算や群知能などの計算知能アルゴリズムを利用した最適化	教　授　高濱　徹行
		進化計算に基づくプログラムの自動生成や感性情報の最適化	教　授　原　　章
		VR/ARを用いた学習支援システム及び感性工学の研究	教　授　松原　行宏
		教育・学習システムにおける知識表現モデルと知識獲得	准教授　岩根　典之
		知的検索インターフェースと実社会データへの応用	准教授　梶山　朋子
		計算知能システムに関するモデリングと実データへの応用	准教授　鎌田　　真
		学習分析・教育データマイニングにおける教育・学習支援	准教授　毛利　考佑
		ネットワーク的視点による社会現象の構成論的理解と制御	講　師　今井　哲郎
		AR/VRを用いた学習支援手法およびシステム実装に関する研究	講　師　岡本　　勝
	知能情報学	音声言語情報処理と自然言語処理	教　授　竹澤　寿幸
		情報理論と情報統計力学	教　授　三村　和史
		学習機械の確率的特性解析	准教授　岩田　一貴
		数理モデルによるヒト行動モデリング及びデータサイエンス	准教授　下川　丈明
		コンピュータグラフィックスのための画像理解	准教授　宮﨑　大輔
		高精細コンピュータグラフィックス	講　師　馬場　雅志
		感情情報処理とマルチモーダルインタラクションシステム	講　師　目良　和也

専攻	講座	研　究　テ　ー　マ	教　　員
システム工学専攻	数理システムデザイン	確率過程を基礎とした最適制御理論	教　授　田中　輝雄
		組込みシステムの形式的検証及び設計最適化	教　授　中田　明夫
		関数近似と変数変換の開発・改善とその応用	准教授　岡山　友昭
		量子情報における数理構造とその応用	准教授　桑田　精一
		軽量認証とその応用を始めとした情報セキュリティ	准教授　双紙　正和
		代数多様体の分類理論，特異点理論	准教授　廣門　正行
		テラヘルツ波領域のナノ量子デバイスシステムの数値設計，電磁波の位相差を利用した空間対称量子システムのパリティ分離検出	准教授　福島　　勝
		進化アルゴリズムと組合せ最適化	准教授　村田　佳洋
	人間・ロボット共生	介護支援ロボット用インタフェース，Air Jetによる非接触物体操作，ギターロボット	教　授　岩城　　敏
		救急車の自動運転と傷病者搬送支援に関する研究	教　授　小野　貴彦
		インテリジェント制御システムの設計	教　授　小嵜　貴弘
		人間－ロボット間の相互作用，人間と協調する自動運転	准教授　池田　徹志
		バーチャルリアリティおよび複合現実型実応用	准教授　脇田　　航
	インタフェースデザイン	サウンドデザインとその評価，適応音響制御	教　授　石光　俊介
		ヒューマンインタフェースのためのコンピュータビジョン技術	教　授　満上　育久
		コンピュータビジョン，車椅子ロボットおよびマン･マシン･インタフェース	教　授　李　　仕剛
		マルチエージェントシステムとその応用に関する研究	准教授　神尾　武司
		分散システムのためのソフトウェア技術	准教授　島　　和之
		音響認識システム，非定常音を対象としたブラインド音源分離	准教授　中山　仁史

専攻	講座	研　究　テ　ー　マ	教　　員
医用情報科学専攻	医用情報科学	計算機実験による生命現象の物理化学的原理の解明と応用	教　授　鷹野　　優
		MEMS 技術を用いたマイクロ医用デバイスシステムの開発	教　授　式田　光宏
		高精度で脳機能ダイナミクスを読み取る非侵襲ブレインマシンインタフェース	教　授　樋脇　　治
		情報通信技術の医療・ヘルスケアアプリケーションへの応用	教　授　田中　宏和
		視覚情報処理機構の解明とその情報工学への応用	准教授　中野　靖久
		病気の診断に用いるバイオセンサーの開発	准教授　釘宮　章光
		計算機を用いた生体触媒の活性と構造の相関の解明	准教授　齋藤　　徹
		計算機による医用画像理解，およびその診断支援・治療支援への応用	准教授　青山　正人
		新しいバイオメディカルイメージング手法およびそのデータ処理・解析法の開発	准教授　藤原　久志
		マイクロマシニング技術によるセンサ開発とその医療応用	准教授　長谷川義大
		ヒトの認知・運動機能の計測・解析に関する研究開発	准教授　福田　浩士
		生体計測・解析による脳機能解明	准教授　常盤　達司
		発光ダイオード（LED）の生物，化学，農業への応用に関する研究	講　師　香田　次郎
		ウェアラブルセンサシステムと生体信号処理	講　師　伊藤　孝弘

Ⅳ　広島市立大学案内図





※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。
広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きのバスには、
「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。